

部局別業務棚卸一覧表 (下水道部)

部局重点活動目的(H17年度)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	部局重点活動目的設定理由
	予算総額	従事職員総数		
市民が快適で衛生的な暮らしができるように下水道の整備、維持管理を行うとともに、下水道事業の経営の効率化と健全化を図る。 ・公共下水道事業認可区域内の整備を計画的に進める。 ・下水道施設・設備の改築・更新を計画的に行う。 ・合流式下水道の改善の実施計画を策定する。 ・平成17年度からの地方公営企業法の全部適用および水道局との組織統合を踏まえ、より一層の経営の効率化と健全化を図る。	下水道普及率	76.3%	86.3%	市民が快適で衛生的な暮らしができる生活環境の改善と、大雨による浸水被害から生命や財産を守るため、下水道の整備を計画的に進めるとともに、老朽した下水道施設・設備の改築や更新を行う必要がある。 また、河川や海などの公共用水域の水質保全を図るため、合流式下水道の改善を行う必要がある。 地方公営企業法の全部適用を踏まえ、下水道事業のより一層の経営の効率化と健全化を図るとともに、水道局との組織統合による窓口部門の一本化などにより、市民の利便性をより向上させていく必要がある。
	19,413,115千円	88名 (部長1名・次長2名 課長4名・参事2名 課長補佐7名 主事および技師60名 技能12名)		

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称 (課所室 担当名) 担当業務目的(上位目的達成手段)	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
		成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
		予算額	従事職員数			

下水道部の各課が仕事をしやすい環境を整える。	適正処理率	100.0%	100.0%	水道事業と下水道事業の組織統合	
	580,116千円	7.0人			
1 庶務担当業務 (下水道総務課 庶務担当) 下水道部および課の業務の円滑な執行のための、執行体制の環境整備等の支援を行う。	適正処理率	100.0%	100.0%		
	580,116千円	7.0人			

下水道事業会計の適正な予算執行を図る。	適正処理率	100.0%	100.0%		
	12,667,092千円	8.0人			
2 経理担当業務 (下水道総務課 経理担当) 下水道事業会計の適正な予算執行のため、部内調整を行う。	適正処理率	100.0%	100.0%		
	12,667,092千円	8.0人			

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
		予算総額	従事職員総数			
No.	業務名称 (課所室 担当名)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
担当業務目的(上位目的達成手段)		予算額	従事職員数			

市民の衛生的な住環境の保全を図る。		下水道普及率	76.3%	86.3%		
		256,907千円	9.0人			
3	下水道普及促進事業 (下水道総務課 普及収納担当) 快適な市民生活を確保するため水洗化の普及促進を図る。	水洗化世帯	86,123世帯	91,700世帯	平成15年度実績 ・排水設備確認申請受付(3,407件) ・融資あっ旋(349件) ・助成金交付(1,270件) ・指定工事店の新規登録(26件) ・責任技術者の新規登録(26件)	平成17年度に指定排水設備工事業者の指定および指定の更新の手数料を新たに設ける。 水道局との統合により、上水道と共通する排水設備完了検査事務について効率化を図る。
		54,391千円	3.0人			
4	下水道使用料の賦課および徴収業務 (下水道総務課 普及収納担当) 快適な市民生活を確保するため、下水道使用料を賦課し徴収する。	徴収率	90.51%	91.00%	平成15年度実績 ・水道局への徴収委託(558,861件) ・井戸水使用者の賦課徴収(2,542件) ・ボイラー・クーリングタワーの蒸発水量等の認定(396件) ・生活困窮者に対する減免(1,935件) ・漏水にかかわる減免(5件) ・下水道の使用休止(135件) ・使用水の変更(19件)	水道局との統合により、一元化した賦課徴収体制とする。
		192,590千円	3.0人			
5	下水道事業受益者負担金および分担金業務 (下水道総務課 普及収納担当) 快適な市民生活を確保するため、安定した下水道整備の財源を確保する。	徴収率	負担金 82.99% 分担金 65.33%	83.5% 71.6%	平成15年度実績 ・新規賦課(2,381件) ・徴収(313,973千円) ・猶予(126件) ・減免(131件) ・督促(5,806件) ・催告(2,729件) ・開発事前協議に対する受益者負担金の意見提示(28件)	
		9,926千円	3.0人			

市民の衛生的な住環境の保全を図る。		全体計画面積	7,434ha	7,434ha		
		217,757千円	4.0人			
6	下水道事業計画業務 (下水道総務課 調査計画担当) 投資効果の高い下水道事業を行うため、事業計画を策定する。	認可計画面積	6,871ha	6,871ha	計画 全体計画面積 7,434ha 全体計画人口 327,800人 認可計画面積 6,871ha 認可計画人口 315,290人 下水道普及率 平成15年度末 76.3% 平成17年度末 80.0%(目標値) 平成22年度末 90.0%(目標値) 平成27年度末 95.0%(目標値) 流域下水道建設費の負担割合について県で見直しを行っている。	下水道の整備を効率的に行うため、平成17年度から下水道総務課で行っている下水道の私道内設置申請業務を下水道建設課に移す。
		217,757千円	4.0人			

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称 (課所室 担当名) 担当業務目的(上位目的達成手段)	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
		成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
		予算額	従事職員数			

市民の衛生的な住環境の保全を図る		下水道普及率	76.3%	86.3%		
		3,629,460千円	23.0人			
7	下水道施設建設業務 (下水道建設課 建設第一・第二担当) 衛生的な生活を確保するため下水道施設の建設を行う	面積整備率	62.5%	65.6%	管渠建設事業 ・汚水幹線(南部幹線他1幹線)L=742m ・雨水幹線(山王北幹線他2幹線)L=1,220m ・面整備(金足、広面、仁井田、四ツ小屋地区他)101ha	水洗化の普及拡大および浸水防除のため継続的な実施が必要であるが、さらなる整備コストの縮減や合流式下水道の雨天時越流水対策が課題となっている。
		3,446,500千円	17.0人			
8	下水道施設建設計画業務 (下水道建設課 計画担当) 衛生的な生活を確保するため下水道施設の建設を行う	面積整備率	62.5%	65.6%	管渠建設事業 ・管渠実施設計及び土質調査委託一式 ・合流式下水道改善計画策定業務委託一式 ・用地取得(山王北幹線他用地)一式	合流式下水道改善計画を策定後、合流式下水道の改善を計画的に実施する。
		182,960千円	6.0人			

市民の衛生的な住環境の保全を図る		事故発生件数	0件	0件		
		554,753千円	21.0人			
9	下水道維持管理業務 (下水道維持課 設備・維持担当) 快適な市民生活を確保するため、下水道管渠等の機能の維持に努める。	修繕率	100.0%	100.0%	下水道管渠改築事業 ・対象 損傷の著しい老朽管(布設後概ね50年以上経過したもの) ・目的等 更生工事(非開削工法)を行うことにより、下水管の機能の延命を図る。 ・16年度施工延長 L=722.3m	
		554,753千円	21.0人			

市民の衛生的な住環境の保全を図る		水質基準値の達成	100.0%	100.0%		
		1,507,030千円	16.0人			
10	処理場等の維持管理・設備整備業務 (下水道施設課 管理水質・施設維持・設備建設担当) 公共用水域の水質保全のため終末処理場等の維持管理、工事監理を行う。	適正処理率	100.0%	100.0%	八橋下水道終末処理場の維持管理 浄化センターの維持管理 ・羽川浄化センター ・金足浄化センター ・仁別浄化センター ・桜浄化センター ・大平台浄化センター 終末処理場整備事業 管渠建設事業	桜浄化センターの廃止
		1,507,030千円	16.0人			